

8. 中国（地域別調査機関：公益社団法人中国地方総合研究センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向関連 (中国)	良くなる	コンビニ（エリア担当）	・5～6月と、客は積極的に買物している。これから夏の繁忙期に入るので、それに合わせた商品設定や接客を心掛け、今の良い流れを継続したい。
		一般レストラン（経営者）	・プレミアム付商品券が発行されれば、消費者の消費意欲が上昇し、景気は良くなる。
	やや良くなる	商店街（代表者）	・出入り業者と話すと、景気はやや良くなっているとよく聞く。店の近隣の人たちの話からも、景気が良くなるという感じを受ける。
		商店街（代表者）	・プレミアム付商品券の発行や、定員4,000人の客船の入港等によるインバウンド効果によって、景気はやや良くなる。
		百貨店（営業担当）	・クリアランスセールが始まり、またプレミアム付商品券も発行されるので、売上は良くなる。
		スーパー（店長）	・景気はやや良くなると思うが、今後の客数や単価は最終的には天候のよし悪しに左右される。
		スーパー（店長）	・プレミアム付商品券の発行もあるので、消費動向は今より活発になる。また大都市部の状況を見ると景気は上向いていると思われるので、遅れて地方にも波及効果が出る。
		スーパー（販売担当）	・7月にプレミアム付商品券が発行されるので、消費者の消費意欲が高まる。
		スーパー（営業システム担当）	・プレミアム付商品券や旅行券等の効果が出ると期待する。
		コンビニ（エリア担当）	・季節的に中食商品や飲料等の売上が上がると思われ、客数増にもつながる。
		コンビニ（支店長）	・客数回復が顕著である傾向が継続する。
		家電量販店（店長）	・8月から商圏内でプレミアム付商品券の取扱が開始されるため、需要が刺激される。逆に7月は買い控えの恐れがあり、仮に冷夏となれば非常に厳しい状況が予測される。
		家電量販店（店長）	・ボーナスの支給時期になるので、客数は増加する。天候も猛暑が続くと予報されているので、エアコン等の季節商材に動きが出る。
		乗用車販売店（業務担当）	・7月に新商品が投入されるので、売上が期待できる。
		その他飲食[サービスエリア内レストラン]（店長）	・今後には夏休みや9月の大型連休が控えている。
		観光型ホテル（支配人）	・県内の観光キャンペーンが始まっている。7月からプレミアム付旅行券の取扱も始まるので、宿泊需要の増加が見込める。
		都市型ホテル（スタッフ）	・株価が上昇しており、またボーナスも増額が見込まれることから、今後の景気に期待したい。
		都市型ホテル（企画担当）	・大型ショッピングモールの開業で足元での景気底上げがみられる中、プレミアム付商品券などの使用がスタートする。季節的にも個人需要が増加する時期であるが、今年の先行受注は前年を上回っており、また大会や学会がらみの受注も好調である。
		通信会社（営業担当）	・景気浮揚感が市場にようやく浸透してきた感があり、販売量が徐々に上昇傾向にある。
		通信会社（工事担当）	・客動向をみると、今後は景気はやや良くなる。
		テーマパーク（業務担当）	・今後は夏休みやお盆休暇に行楽で外出する人が多くなるので、来客数の増加が期待できる。
		設計事務所（経営者）	・国全体では東京オリンピックやリニア新幹線などの工事が本格化していくが、地方にも仕事の動きが出てくる期待感がある。
		住宅販売会社（従業員）	・大手企業の業績改善や賃金増額など、景気の回復感が前面に出始めており、消費の刺激につながる。
		住宅販売会社（営業担当）	・7月より工事の着工が増えるため、景気は良くなる。ただ梅雨時期に当たり屋外工事の受注は少なくなるため、全体としてみれば景気はやや良くなる状況である。
	変わらない	商店街（代表者）	・空き店舗への問い合わせが数件きている。新たな店舗が開店すれば人の流れも変わるので注目しているが、残念ながら新規開店はまだまだ先という状態である。
		商店街（理事）	・当市でもプレミアム付商品券が発行され話題になっているが、景気に対しては一時的な要因に過ぎない。全体としては、良く言えば景気は落ち着いている、悪く言えば余り良くなっていない状態である。
		商店街（代表者）	・春先から食料品等、物価上昇が続いているが、地方ではそれに見合う賃金の上昇がないため、消費者の購買意欲につながらない。

一般小売店〔靴〕（経営者）	・当商店街は地元百貨店と連携して、免税店の取扱を始めている。特定業種の店舗では売上が伸びているが、すべての店が恩恵を受ける状況ではない。
一般小売店〔茶〕（経営者）	・松江城が国宝に決まる予定であり、そのためか特に個人の観光客が増えてきたように感じる。残念ながら松江市の対応に変化はなく、相変わらず松江城は5時に閉まる。このような対応では松江への観光客はあまり増えないのではないかと心配になる。
一般小売店〔印章〕（経営者）	・近く宣伝チラシを配る予定にしており、少しは注文が増加すると思うが、大きな期待はできない。
一般小売店〔食品〕（経営者）	・景気が回復する材料が見当たらない。
一般小売店〔眼鏡〕（経営者）	・景気は3か月前よりは良くなっているが、この状態が今後も継続するとは考えにくい。
百貨店（経理担当）	・しばらくは前年並みの売上が続く予想する。8月からはプレミアム付商品券の利用が始まるというプラス要素がある。
百貨店（営業担当）	・当館の運営に限って言えば厳しい状況は続くが、新規店舗の誘致が進めば売上はある程度回復すると期待している。ただアパレルや雑貨は近隣のショッピングモールでも厳しい状況であると聞くので、以前の状態には回復しないのではないかとと思う。
百貨店（営業担当）	・特に景気が良くなる要素はなく、厳しい状況が続く。特に衣料品では各メーカーが春夏商品の生産を絞っているため、セール品の在庫が早期になると予測される。また8月は残暑が厳しいようなので、晩夏・初秋の定価品が好調に売れるとは考えにくい。
百貨店（販売促進担当）	・ギフト商戦や夏セールが本格化する。ギフトは早期割引等がある6月に集中すると想定されるため、7月以降は低迷も考えられる。反面、7月中旬にずれ込んだ夏セールは、ファッション部門の回復につながる期待感がある。
百貨店（購買担当）	・都会ではインバウンド効果が見られるようであるが、地方ではそういう効果も見受けない。取引先ではインバウンド客向けの商品は大量に生産するが、それ以外の商品は前年より抑える傾向にあるようである。2～3か月後に秋冬向け商品を豊富にそろえられるか、不安に感じる面がある。
百貨店（売場担当）	・3か月後の晩夏から初秋の時期では、地方の景気回復が程遠い状況は変わらない。世界情勢をみても株価が不安定であり、先の見通しが立たない。
百貨店（営業推進担当）	・株高など、心理的には景気への好材料もあるが、当地域では交通機関等の人の移動手段が少ないため、市内中心部ではなかなか週末のにぎわいが起こらない。またプレミアム付商品券が売れ残る状況も出ており、消費者の財布のひもはなかなか緩みそうにない。
スーパー（店長）	・身近には景気が良くなる材料も悪くなる材料も見当たらない。
スーパー（店長）	・客数と客単価は4～6月と良い推移となっており、この状況はしばらく続く。
スーパー（店長）	・各種の値上げも一段落しそうであり、消費に関わる事項には良いも悪いも見当たらない。
スーパー（業務開発担当）	・冷夏予想の夏場の気温が気になるが、販売点数は堅調に推移する。
スーパー（販売担当）	・目立った数字ではないが、ここ数か月、客数と客単価はともに安定しており、下げ止まり感がある。ただ店舗運営上の判断基準となる各数値には、いまだに上昇の兆しは見えない。
スーパー（財務担当）	・消費税増税から1年が経過した。消費者はメーカーの値上げによる販売価格の上昇と、消費税率3%アップの重みを肌で感じており、今後も節約は継続する。
スーパー（管理担当）	・7月にプレミアム付商品券が発行されるので、消費意欲の上昇を期待しているが、一過性であり景気回復につながるかは疑問である。ただ景気の起爆剤になればという期待は持っている。
コンビニ（副地域ブロック長）	・周囲では収入が増加しているという話は聞かない。
衣料品専門店（経営者）	・中小企業への景気対策が不十分であり、景気は変化しない。
家電量販店（店長）	・もちろん景気は良くなってもらわないと困るが、自分自身でもいろいろ手を尽くして生き残る道を見出そうと考えている。

家電量販店（販売担当）	・パソコンの新しいソフト次第で、販売量が変わる。
家電量販店（企画担当）	・特に景気が良くなる要因は見当たらず、景気は変わらない。
乗用車販売店（統括）	・新型車の発売がないので、4～6月の状況がそのまま続く。
乗用車販売店（営業担当）	・ボーナスは出たが月々の生活費に当てるので、大きな買物はないとの話をよく聞く。いまだに景気が上向いていると感じている客には出会わない。
乗用車販売店（店長）	・新車効果が期待でき、またボーナスの支給もあるので、今後は景気が上向くと見込んでいた。ただ6月の状況を踏まえると、すぐに景気が上向くとは考えにくい。
乗用車販売店（営業担当）	・新型車の発売もないので、今のままの状態が継続する。
乗用車販売店（営業担当）	・今後、景気が良くなるような材料は特に何も無い。
自動車備品販売店（経営者）	・地方に特化した政策、特にサービス業等の景気悪化が激しい業種を対象とした景気対策を望む。タイヤ業界では、メーカーが輸出で空前の好決算である一方、小売店では大赤字の個人経営店が続出している。何かピンポイントで対策を打ち出さない限り、今のジリ貧状態が続くだけである。
住関連専門店（営業担当）	・大規模なイベントで集客できることは分かっているが、頻繁には開催できず、また店内の小規模催事では客は集められない。今後どうするか思案している。
その他専門店〔和菓子〕（経営者）	・客数の極端な増減要素は当面考えられない。
その他専門店〔時計〕（経営者）	・地方にも都市部の景気回復が波及して、景気が良くなると信じたいが、確信を持っていないため景気は変わらないと判断した。景気はこれ以上に悪くならないで欲しい。
その他専門店〔布地〕（経営者）	・プレミアム付商品券が発行され、消費が多少良くなった気はするが、この状態が長く続くとは思わない。
その他専門店〔ファッション雑貨〕（従業員）	・バーゲンセールでも客の購入商品数が減少する状況にあり、この先も期待できそうにない。当地でもプレミアム付商品券が発行されるが、高額品の購入に充てるという声が多く、当店売上に効果があるか心配である。
その他小売〔ショッピングセンター〕（所長）	・景気が上がる材料は何もない。
その他小売〔ショッピングセンター〕（運営担当）	・株価は上昇しているが、恩恵を受けている人は一部に限られており、それにより一般消費が伸びるとは思えない。
高級レストラン（スタッフ）	・前年から客数がどのように変化するかは予想しづらい。
一般レストラン（経営者）	・中小零細企業のボーナス支給状況に影響される。一般的には景気が良いのは一部の建設関連に限られているので、全体の消費動向が上向くとは考え難い。
一般レストラン（外食事業担当）	・今後の集客は天候に左右されるが、今のところ前年と同じような動きである。長期予報によると、夏は少し早く来て長く続くとのことなので、良い流れは継続する。また好調な食べ放題メニューも若いファミリー層を中心に期待できる。
スナック（経営者）	・売上が伸びないと来店した中小企業の社長から聞く。まだまだ景気が回復傾向にあるとは思えない。
観光型ホテル（宿泊担当）	・単価的には相変わらず安価なものを希望する客が多く、景気は良くなっていない。
都市型ホテル（企画担当）	・宿泊客数はこれ以上は増えない。レストラン部門も今以上に伸びる要因は見当たらない。
都市型ホテル（総支配人）	・夏を迎えて、入込観光客は現在より増える。ただ地域の消費沈滞ムードが改善されるかは、不透明である。
旅行代理店（経営者）	・現在の株高・円安の様子をみると、もう少し状況を見極める必要がある。倒産する企業は出ていないが、銀行から厳しい条件を出されている企業もあり、景気の先行きについては9月ごろまで油断が許されない。
旅行代理店（営業担当）	・世界情勢も不安定であり、国内需要がどれだけ伸びるかわからない。
タクシー運転手	・夜の飲食街への人出が少ない。一日全体の仕事量でみると、横ばい状態が続く。
タクシー運転手	・今後の売上は夏が暑いから涼しいかで変わってくるので、現時点では判断しにくい。
タクシー運転手	・現在ではタクシー業界はあまり景気に左右されない。利用数が増加している割には、収入増につながらない。
通信会社（社員）	・販売量に変動がない。

		通信会社（企画担当）	・コスト削減のため客が財布のひもを固くする傾向もあるが、新しい合理的かつ効率的なサービスへの関心は更に高くなる。
		通信会社（総務担当）	・来客数の伸びもなく、販売数の伸びも見込めない。
		通信会社（広報担当）	・客は低価格のものを求めており、この傾向はずっと変わらない。
		通信会社（総務担当）	・住宅の新築着工が増加しないため、放送サービスも引き続き低調となる。
		テーマパーク（管理担当）	・個人消費に変動がなく、地域的には景気の横ばい状況が続く。
		ゴルフ場（営業担当）	・引き続き景気は良い状態を維持すると思うが、今月と同様に、インバウンド客の集客が鍵となる。
		美容室（経営者）	・景気が良くなる見通しを持ってない。
		美容室（経営者）	・客と話しても、客の生活水準が変わっている印象は受けない。
		美容室（経営者）	・現時点では景気は良い方向に進んでいるが、まだ不安定な状況である。景気が回復したとは言えない。
		設計事務所（経営者）	・地方の切り捨てが進み、地方経済の崩壊が顕著になる。オリンピックスタジアムに途方もない高額予算が必要なためか、地方の国公立大学の予算を大幅にカットするという話もある。
		設計事務所（経営者）	・建築物価は高止まりしたままであり、よほどの材料がなければ景気の改善は見込めない。
		住宅販売会社（営業担当）	・この2～3か月後に、住宅購入希望者が収入増を実感して、かつ今後の収入にも見通しが立てられる状況になるとは思えない。
	やや悪くなる	商店街（代表者）	・マスコミは大都会や製造業では景気が良くなっていると報道するが、物販業は景気の良さを全く感じない。月ごとに売上が落ち単価の低下も続き、今後が非常に不安である。
		商店街（代表者）	・地方では依然として収入増の人は少なく、食料品を中心に値上げも多いため、今後も客の買い控えが続く。
		百貨店（売場担当）	・夏物衣料や雑貨は厳しい状況が続いており、クリアランスセールスタート日も各テナントがそろわないため、盛り上がり欠けると予測する。秋の正価品商戦でも円安によって商品価格が上がるので、すんなり客がついてくるとは思えない。
		衣料品専門店（経営者）	・消費回復のため県や市からプレミアム付商品券等が発行されたが、日常の買物に使われるのがほとんどであり、消費拡大にはつながらない。かえって、その後の消費の低下が心配である。
		乗用車販売店（総務担当）	・ボーナス時期を迎えているが、期待するほど販売は盛り上がっていない。次の半期決算では、販売量は伸び悩みそうである。
		一般レストラン（店長）	・郊外型のショッピングモールが増えている中、近郊に中四国最大規模の店がオープンし、現在は週末に若干の影響を感じている。夏休みに入ると、市内中心部への集客がますます少なくなると心配である。
		テーマパーク（営業担当）	・秋は団体客の比率の高い時期であるので、このまま団体客が減少した現状が続くと苦しい。
		設計事務所（経営者）	・客には住宅建築への積極性が感じられず、しばらくは低調な動きが続く。
	悪くなる	スーパー（店長）	・高齢者は8月の年金支給日まで支出を控えるので、今後は来店回数や購入点数の減少が懸念される。ディスカウント店に客が流れている様子がうかがえる。
		その他専門店〔海産物〕（経営者）	・旅行会社に問い合わせても、団体バスツアーが以前のように活発に動き出すことはなさそうである。
		競艇場（職員）	・今後2～3か月は6月のSG競走と同程度の売上を期待できるレースの開催はない。
		住宅販売会社（営業担当）	・近年の客動向からみて、8～9月は客に動きはないと想定する。一般的にも8～9月は夏休みやお盆の帰省等で支出が多くなることから、消費者は支出を抑える傾向になる。
企業動向関連	良くなる	輸送用機械器具製造業（経営者）	・今後2～3か月後も多忙な状況は続く。
(中国)	やや良くなる	木材木製品製造業（経理担当）	・まだ景気判断材料に良悪の両要素があるため、確信は持てないが、住宅市況には回復する気配がある。
		化学工業（経営者）	・不具合プラントの復旧に目途がつき、7月以降は通常操業に戻る予定である。
		鉄鋼業（総務担当）	・今後は在庫調整も進展し、建築分野などが需要期に入れば活動も活発化する。
		建設業（総務担当）	・受注は今後も堅調に推移する。
		建設業（総務担当）	・株式市場の好況が景気に良い影響を与える。

	<p>通信業（営業企画担当）</p> <p>金融業（貸付担当）</p> <p>広告代理店（営業担当）</p> <p>会計事務所（職員）</p>	<p>・客と雑談すると、ボーナスの使い方では車の買替えや住宅の増築など、前年より高額な案件が多い。</p> <p>・夏季ボーナスが増額傾向にあり、日経平均株価の終値が15年ぶりの高値となるなど、身のまわりでは景気の良い話が多い。取引先にヒアリングしても、お中元の販売状況が良いようである。2～3か月先には都市部の好景気が地方にも波及してくると思われ、景気はやや良くなる。</p> <p>・先を見通した受注等で、景気は上向きに進行する。</p> <p>・レジャー関係の小売店では、来客数が前年に比べて増加傾向にある。売上にはっきりと反映しているわけではないが、この傾向が継続すれば、景気は良い方向に向かう。</p>
変わらない	<p>農林水産業（従業者）</p> <p>食品品製造業（総務担当）</p> <p>化学工業（総務担当）</p> <p>窯業・土石製品製造業（総務経理担当）</p> <p>鉄鋼業（総務担当）</p> <p>非鉄金属製造業（業務担当）</p> <p>金属製品製造業（総務担当）</p> <p>一般機械器具製造業（経理財務担当）</p> <p>電気機械器具製造業（総務担当）</p> <p>電気機械器具製造業（総務担当）</p> <p>輸送用機械器具製造業（経営企画担当）</p> <p>輸送用機械器具製造業（財務担当）</p> <p>通信業（営業担当）</p> <p>金融業（自動車担当）</p> <p>不動産業（総務担当）</p> <p>コピーサービス業（管理担当）</p>	<p>・シーズンに入っているアジとイカの不漁が続いている。水温が低いためとも言われるが、原因は明確でない。当漁港は青物魚の水揚げが中心であり、特にブランド魚であるアジの不漁は痛手である。</p> <p>・取引先のクレーム問題の波及影響を受けて、全体の生産計画の内容を変更した。6月は落ち着いてきたが、7月以降もうまくいくかどうか不透明である。また当社は9月から繁忙期に入るが、これに向かって状況が良く見えない。</p> <p>・政策や為替等の影響で景気が良くなったようにみえるが、内需が拡大しているとは思えない。建設業の人手不足で工事が遅れるなど、国内産業のバランスがまだ悪い。</p> <p>・鉄鋼業の減産は今後2～3か月は継続する見込みであり、当社の仕事量は今の水準が継続する。10月以降は建設案件の受注が決まっており、仕事量は回復する。</p> <p>・現段階では景気の先行きは不透明である。インドネシアや中国の経済減速やギリシャの債務危機など、リスク要因が多い。今後の全体的な動きに左右されずに、収益をどのように確保するか、また新ビジネスの確実な展開が必須となる。</p> <p>・株価は上昇しているが、景気が今後良くなると断言できる材料が不確実である。</p> <p>・受注量や原材料価格等について大きく影響する情報は入っておらず、現状と同水準で推移する見込みである。</p> <p>・需要動向の弱さや販売量の伸び悩みをみると、景気に変化は感じない。</p> <p>・マスコミは夏のボーナスは右肩上がりと報道するが、まだまだ中小零細企業は近い将来の絵すら描けない状態である。ただただ世間の言う好景気に振り回されている感がある。</p> <p>・新規案件の獲得が進まない。</p> <p>・為替が安定している状況が継続する限り、主要客からは安定した受注が見込まれる。</p> <p>・短期間のうちには景況感を左右するような材料は出てこない。</p> <p>・株価上昇により上場企業だけは景況感が良いように思われる。個人消費が伸び悩んでおり、今後も中小零細企業においては景気回復の兆しはみえない。</p> <p>・為替が緩やかな円安傾向にあり、自動車業界では高水準の輸出が持続する。国内販売においても新型スポーツカーの販売好調などから、全体の販売台数は前年を上回る。</p> <p>・賃貸物件の需要時期でないため、景気は変わらない。</p> <p>・景気が良くなる材料は全くない。設備投資は行っておらず老朽設備のサービスからは撤退し、人員は他事業へ異動させており、コピー事業は縮小して最終的には撤退する計画である。</p>
やや悪くなる	<p>建設業（総務担当）</p> <p>輸送業（経理担当）</p>	<p>・準備段階にある工事が進ちょくし始めるが、資機材の価格が上昇する一方、その確保に苦労することが予想される。</p> <p>・荷動きにはあまり変化はないが、取引先から値下げや物流合理化の要請が出ており、今後は景気はやや悪くなる。</p>
悪くなる	<p>食品品製造業（総務担当）</p> <p>一般機械器具製造業（総務担当）</p> <p>その他製造業〔スポーツ用品〕（総務担当）</p>	<p>・原材料の高騰が止まらない。客の節約傾向が続く一方で、消費の上昇が見込めない中では、商品の値上げは厳しい。</p> <p>・受注量や販売量の動きが悪い。</p> <p>・国内の消費拡大等、景気が良くなる要素は見受けられない。材料費の高騰、製造難易度の高まりや人件費の上昇等、景気が悪くなる要素は今後も継続拡大しそうだ。</p>
雇用関連	<p>良くなる</p> <p>やや良くなる</p> <p>人材派遣会社（支社長）</p>	<p>-</p> <p>-</p> <p>・例年どおりであれば、食品製造業を中心として年末に向けて生産拡大が見込まれる。</p>

(中国)	求人情報誌製作会社 (広告担当)	・地場中小企業についても、夏以降に本格的な採用活動のピークが訪れるという声をよく聞く。個人的にも、夏の暑さにリンクするように、企業の採用活動も熱を帯びてくるという感触を受ける。
	職業安定所(所長)	・医療・福祉業や建設業の人手不足業種では、求人意欲は以前から極めて高かったが、緩やかな景気回復を背景に基幹産業である製造業においても求人意欲の高まりが感じられる。
	職業安定所(産業雇用 情報担当)	・6月から新規高校卒業者を対象とした求人を受理している。最初の1週間が経過した時点で、求人件数は前年を約21%、求人数は約11%上回っており、企業の採用意欲の高まりを感じる。
	民間職業紹介機関(職員)	・有効求人倍率は高止まりしており、株価は高値安定で推移するなど、今のところ景気に陰りは見えず、不安材料もない。日韓関係も少しではあるが前進しており、しばらく現在の景況が継続する。
変わらない	人材派遣会社(社員)	・派遣法改正により、積極的に求人する企業と求人しない企業に二極化する。
	人材派遣会社(経営企 画担当)	・当業界は商況に左右されるだけに、直接的な影響は小さいと思われるニュースであっても、マーケットでは心理的にどのような影響が出るか常にアンテナを張って注視しておく必要がある。中期的な目線では、10月以降の法案対応によって経営活動は大きく変わるとみている。
	人材派遣会社(支店 長)	・求職者の動きが増えれば景気は良くなるが、現在は動きが活発になる見込みがない状態である。
	新聞社[求人広告] (担当者)	・行きつけの喫茶店では、アルバイトが定着せずころころと代わっている。少しでも時給が良ければ、すぐに転職すると聞いた。現在は40歳代の女性アルバイトが加わっているが、特に若者確保には悩んでいるようだ。売上が増えない店に簡単には時給を引き上げられず、悩みは続きそうである。
	職業安定所(産業雇用 情報担当)	・小規模事業所の新規開業や廃業の話は若干聞くが、雇用環境に大きな変化はみられない。
	職業安定所(雇用開発 担当)	・6月から高卒者を対象とする求人の受理を開始している。前年同様に採用意欲のある企業が多く、順調な滑り出しである。
	学校[短期大学](学 生支援担当)	・今後大きく変わるかもしれないが、今のところ動きは見えない。
やや悪くなる	民間職業紹介機関(人 材紹介担当)	・もともと当県の有効求人倍率は高いため、新規求人に対する反響が予想よりも鈍い場合があり、飲食店の出店計画に影響を与えている。
悪くなる	-	-